

令和8年度 第1回庁議要点記録

日 時：令和8年4月1日（水）午前8時45分～9時15分

場 所：庁議室

出席者：市長、橋本副市長、塩野目副市長、教育長、政策経営部長、財政法務部長、総務部長、市民部長、健康部長、福祉部長、子ども家庭部長、都市企画部長、建設環境部長、教育部長、市長政策室長、総合調整担当課長、議会事務局長、秘書室長、会計管理者心得

議 題

○年度始めに当たって

○その他

橋本副市長： 令和8年度第1回庁議を開催します。本日の議題は、年度始めに当たって及びその他です。最後に市長から年度始めに当たってのお言葉をいただきたいと思いますので、最初にその他です。政策経営部長、お願いします。

政策経営部長： 本日付けで組織改正と人事異動がありましたので、改めて各システムの情報セキュリティ対策実施手順の徹底をお願いします。特に、人事異動に伴うユーザー権限の管理については、しっかりと対応をお願いします。

橋本副市長： 新年度が始まり、4月1日は立て込んでいますが、事務ミスがないようにお願いします。この後、部課長会や課内会議等で、新入職員にもしっかりと周知徹底してください。

その他各部からありますか。よろしいですか。なければ、新たに庁議メンバーになった方もいますので、新年度のスタートとして、庁議メンバーから新年度の想いについて、一言お願いします。政策経営部長からお願いします。

～～庁議メンバーより～～

橋本副市長： 最後に、市長より年度始めの御挨拶をお願いします。

市 長： 本日から新年度ということでよろしくをお願いします。

私自身、昨日の段階では、1日変わってもあまり心持ちは変わらないと思っていましたが、実は、今朝起きてから妙に高揚感があり、自分の中で沸き立つもの、湧き上がってくるものを強く感じています。

先ほど第二副市長からも話がありましたが、私にとっては初めて通年で取り組む年度であります。また先日、皆さまから御協力いただき成立した令和8年度当初予算をしっかりと実行していくという、今年は私にとって変化を形にしていく、実行する年度であると思っています。

後ほど訓示でお話をさせていただくので、あまり重複しないようにいたします。その上で、庁議の場でお伝えしておきたいのは、現状認識として常々言っているように、現状維持は破滅だということ。このことは庁内で繰り返しこれからも述べていきたいと思えます。

先日の予算委員会の資料でも示したとおり、国分寺市の人口は、令和7年度から8年度にかけておおよそ0.44%程度延びています。しかしながら、中身を見た時に、高齢化率1%を越えて上がっており、年少人口はマイナス0.29%くらいだと思います。そして、生産

年齢人口の伸び率もそこまで伸びていない。0.29%くらいだと思います。つまり、本市の人口規模は大きくなっているが、その中身を見た時には明らかにタームが変わってきているということでもあります。

今、皆さまの取り組む仕事は、何一つ要らないものはなく、それぞれ重要な役割を担っていただいています。それらが続けることだけを考えても、現状維持では早晚立ち行かなくなると、私は就任以来ずっと申し上げてまいりました。このことが、本当に数値データからも明らかになってきているわけでもあります。

そうした意味で、現状維持は破滅であるということをご各課、全職員に浸透させるようにしたいです。それを窓口となって推進していくのは部長の皆さまであると思います。その点は、くれぐれもよろしくお願ひしたいと思います。

そして、この現状認識に立った上で、我々は何を目指していくのかということ。当然、国分寺市総合ビジョンで掲げる目標や施策等もありますが、私は、端的に言えば「良い仕事をしよう」と今年を言っていきたいと思います。

良い仕事、これをみんなでやろうではないか。良い仕事とは何なのか。私が考えている定義は、将来にわたって市民に評価されること。職員自身がやりがいを感じる。そして、社会的な価値を生むこと。これらを満たす仕事のことです。

皆さんの業務は、本市の場合には別会社がくっついているくらい、多岐にわたる内容です。しかしながら、今申し上げた良い仕事の定義は、あらゆる分野のあらゆる仕事に当てはまると思っています。

現状維持は破滅だと認識した上で、我々は何をしなければいけないのかということ、良い仕事を行っていくことです。このことを私は今年、特に強く皆さまに伝えていきたいと思っています。

我々は、市民の将来を視野に入れなくてはなりません。今だけではない、どこを目指しているのか、自分たちが現在どこに立っているのか、どの時点の話をしているのかということ、しっかり認識してください。市民に還元することをまず考える。そして、職員一人一人が宝でありますから、職員自身がやりがいを感じることも大切です。

当然、口で言うほど簡単なことではないでしょう。正直なところ、つらい現場に当たることも多くあると思います。やはり、そのような意味でも一人一人の職員を大切に、やりがいを考えていく。健康管理もその一環ですし、モチベーションの向上や、その人の成長につながるメンター的な役割も、皆さんにはしてもらわなければいけません。このような取組も進めていきたいと思っています。

そして、何より重要なのは、これらの改善が我々の仕事として、社会的な価値を持つことです。今までやっていたからやりますではなく、これからの時代においても必要とされ、価値があると判断されるものを、我々はしっかりと行っていく。良い仕事をみんなで作っていく。それを私は徹底したいと思います。

状況はこれから厳しくなります。基金の話もありました。資金繰りの話もあった。しかしながら、今我々に課せられたミッションは、非常に重たいものであると認識して求めていけば、私は必ず解決できるし、打開できると思っています。

今回、新任の部長として波岡部長、佐藤局長が、また、総合調整担当の秋山室長にも庁議メンバーに入ってもらいました。事務局の体制も代わって、陣容としては新しい形でこれから進めていくわけです。本当にお世辞抜きで、私はこの中に部長の適任でない人は一人もいないと思っています。皆さんすばらしい人材だと思っています。だからこそ、今回の人事異動は大きな変化もありますが、皆さんなら必ず乗り越えられるし、逆に違う場所に行ったからこそ、過去の先例等にも良い意味での疑いを持って改善できると思っています。

我々のリソースの準備は十分整っています。あとはどこで、何を、いつやるかということ

と、目線をしっかり合わせ、目標に向かって走って行く。そのために総合調整担当も設置しました。

皆さんにはこれから、大きな変化への対応をお願いすることになります。これも繰り返し言っていることですが、市長として、最終的な責任は私が取ります。しっかり皆さんの声に耳を傾けながら、決断すべきことは決断して、このまちの将来に責任を取って前に進めていく。このことも、この場で改めてお約束したいと思います。

今年は本当に多岐にわたる様々な事業が進みます。令和9年度、令和10年度を見据えた事業も既に始まっています。私はそれらを非常にエキサイティングなものだと、良い意味でエンジョイしながら、皆さんと共に良い国分寺作りに邁進したいと思います。

改めて皆さんのお力をお貸しいただきたい。このことをお願い申し上げて、年度当初の挨拶とさせていただきます。今年度もよろしく申し上げます。

橋本副市長： 以上で庁議を終了します。